



# ふくし・かいご通信

発行：社会福祉法人北海道社会福祉協議会  
北海道福祉人材センター ☎011-272-6662



北海道福祉人材センターでは、一般社団法人北海道介護福祉士会の協力を得て、福祉・介護に関する基礎知識や日常に役立つ情報を定期的に発行しています。



今月のテーマ 「介護のワンポイント」

## ～看取りケアについて～

一般社団法人 北海道介護福祉士会 理事 五十嵐 修平 氏  
社会福祉法人 勤医協福祉会 介護副部長 / 認定介護福祉士

### ■【我が国の看取りケアの現状】

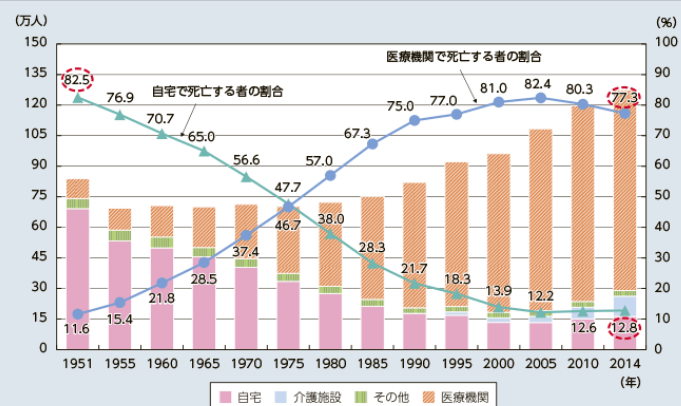
もしも、あなたが病気で治る見込みがなく、およそ1年以内に徐々にあるいは急に死に至ると分かったとき、最期をどこで迎えたいですか。それはなぜですか。

この質問は、現在私が非常勤講師を務める介護福祉士養成校の学生に対し、親へ聞き取りを行う冬休みの宿題の一部です。昨今の日本では「終活」という言葉も生まれ、自分の人生の終わりを意識した身のまわりの整理や断捨離、葬儀やお墓の準備を始める方が増えつつありますが、欧米諸国に比べまだまだ「死」についてタブー視する文化が残っています。私が介護福祉士養成校の学生だった25年前も、祖父母に「死に方」について聞いてみたところ、両親から「縁起でもないことを聞くな」と怒られたことを覚えています。この宿題を通じ学生らは、最も身近な親の死に対する思いを知り、将来、介護福祉の専門職となるための死生観を磨きます。親御さんにとっても、日頃我が子がどのような勉強をしているのか知る機会となるため、毎年この宿題の発表会を開催しています。

厚生労働省の資料によると、我が国では戦後ほとんどの者が自宅で亡くなる時代がありました。それ以降1975年を境に、医療機関で亡くなる者が自宅で亡くなる者を上回る逆転現象になっていることがわかります。現代社会では77.3%と圧倒的多数が医療機関で亡くなっています。このような背景には、1961年に医療保険制度が成立し、国民皆保険がスタートしたこともありますが、高度経済成長とともに家族世帯構成の変化や女性の社会進出も進む中で、家族は働き忙しいため、最期はお金を払い医療機関で看ってもらうことが、社会の中で一般的となりました。

さて、冒頭にさせていただいた質問は、厚生労働省から委託された調査団体が、令和4年度に国民6,000人を対象に聞き取りを行ったものです。(※1)

図表 1-1-12 死亡場所別に見た、死亡数・構成割合の推移



資料：厚生労働省政策統括官付人口動態・保健社会統計室「人口動態統計」より厚生労働省政策統括官付政策評価室作成  
(注) 1. 「介護施設」は、「介護老人保健施設」と「老人ホーム」を合計したものの。  
2. 「医療機関」は、「病院」と「診療所」を合計したものの。  
3. 1990年までは老人ホームでの死亡は、自宅又はその他に含まれる。

設 問	回 答
最期をどこで迎えたいですか	医療機関 41.6% 自宅 43.8% 介護施設 10.0% 無回答 4.6%
自宅以外を選んだ理由	1位：介護してくれる家族等に負担がかかるから 2位：症状が急に悪くなったときの対応に、自分も家族等も不安だから
自宅を選んだ理由	1位：住み慣れた場所で最期を迎えたいから 2位：最期まで自分らしく好きなように過ごしたいから 3位：家族等との時間を多くしたいから

この結果から、最期を迎えたい場所に対する希望は「自宅」と回答した者が最も多いことがわかります。また、医療機関などを選んだ理由の背景には、『本当は住み慣れた自宅で最期を迎えたいけど、家族に迷惑・負担がかかるから』とあきらめる思いで回答した者もいらっしゃるかと推察できます。

このことから、最期は自宅で迎えたいと希望する割合はさらに多いと考えられ、最期を迎えたい場所に対する希望と死亡場所の割合が逆転している、我が国の看取りの現状がここにあります。

少子高齢化が進む中、日本は多死社会を迎えます。人生の最期の時間をどこで、だれと、どのように過ごしたいのか、日常のケアの中で利用者の本当の気持ちを掴むことが、我々介護福祉士の大事な役割のひとつです。是非、読者のみなさまも自分自身のこと、身近にいる大切な方の「もしもの時に備えて」考えてくだされば幸いです。

### ■【介護福祉士の専門性を活かした看取りケアの事例紹介】

私が介護老人保健施設（※2）に勤めていた時のお話です。

A氏 80歳代 女性 要介護度5 主病名：#1 頸椎環軸椎前方垂直亜脱臼 #2 頸髄症

夫はすでに他界され、長女と次女がおり、A氏と長女は10年以上も関係性が悪く疎遠でした。

介護老人保健施設に入所後6カ月間リハビリを行い、いよいよ自宅へ帰る準備をしていた頃、頸部痛、頭痛が増強し、嘔気や眩暈の出現があり、四肢の脱力にて歩行が困難となり、A氏は寝たきりとなりました。それでもトイレを希望するA氏に対して、職員は2～3人介助でA氏の体を抱えようとしますが、「痛い！」と叫ぶ一方で、「トイレに連れて行って！見捨てないで！」とも話されていました。



その数カ月後、A氏の飲み込む力が弱まったことによる誤嚥や肺炎の発症、心不全の悪化などが見られ、医師から長女へ病状の説明を行いました。長女からは「本人は病院をととても嫌がっている。私も覚悟はできているので最期まで施設で見てほしい」と看取りを選択しました。また「最期まで好きなものを食べさせてあげたい」と話されました。

A氏はもともとビールとお刺身が好物で毎日晚酌をしていたこと、また昔からおしゃれでいて洗顔・入浴は毎日欠かさず、髪が少しでも伸びると美容室へ通う人と長女から教えてもらいました。そこで、長女にお願いしビールとお刺身を定期的に購入してもらい、刺身は小さくカットすることで、むせることなく食べることができました。入浴後の水分補給はもちろんビールで、吸い飲みで一口飲んで「うまい！」と苦痛から解放された笑顔がありました。美容については、毎朝の洗顔は蒸しタオルと洗顔クリーム、その後の化粧水と乳液は必須で、毎日介護福祉士がお肌を整えました。また入浴時には毛染めができるシャンプーを使用し、髪が少しでも伸びれば訪問美容に来てもらい、ベッド上で髪を切り、A氏は鏡で確認すると「まあきれい！」と毎回喜ばれていました。

ある日、介護福祉士が長女へ食事介助を提案しました。長女は介助しながら「今が一番母を愛おしいと思える。もっと早く母と仲直りしていれば」と涙ながらに話されていました。長女の食事介助は亡く

なる2日前まで続きました。

いよいよ、お別れの時が来ました。ウトウトと眠るA氏の周囲にたくさん家族が見守っていました。そして、初曾孫を産んだ東京の孫とテレビ電話をする中で、A氏も電話越しに聞こえる初曾孫の元気な泣き声を聞き微笑み、長女の「聞こえたかい？」の声にかすかに頷かれています。その2時間後にA氏は旅立たれました。



後日、長女とお話しさせていただく機会があり「今は母の嫌なことは全て忘れて、良い思い出しか残っていません」と笑顔で話してくださいました。

## ■【介護福祉士の専門性とは】

死にゆく人の最期の「生」を支えるために必要な、**その人らしさ**を知るための技術や、その過程を支えるために必要な知識こそ、介護福祉士の専門性。その人らしさを知るためには、これまでの生き方や大切にしていることを知りたいという気持ちで、日頃からの関わりの中で耳を傾けることが大切です。

看取りケアでは、本人だけではなく家族も含めてケアする視点が重要です。看取りの方法を教えるのではなく、死に向かっていることを家族がきちんと理解し、受け止め、不安の軽減を図りながら準備できるようなケアしていくことが大切です。事例の長女が語ったように、家族にとって納得できる死とは、本人の気持ちを十分に尊重しながら「できる限りのことはやった」と思えることだと考えます。その達成感こそ、残された家族にとって今後の人生を生きる原動力となるのです。

さらに、A氏と長女は介護を通じて一緒に過ごした時間を積み重ねたことで、疎遠だった親子の絆をふたたび結び付けました。介護には人と人とのこころを結び付けるすばらしい力があります。我々介護福祉士の実践は、どれほど本人と家族の大切な時間を取り戻せているのでしょうか。どれほど社会にとって価値のある仕事をしているのでしょうか。人は誰もが死を迎えます。だからこそ最期の1分1秒まで自分らしく生き抜くことを支援する介護福祉士の存在意義があるのです。介護という手段・方法を用いて、その人のしあわせ（福祉）を追求していく国家資格が介護福祉士です。私はこの国家資格に誇りとプライドを持ち、これからも働いていきたいと思えます。

※1 人生の最終段階における医療・ケアに関する意識調査事業 令和5年12月

受託事業者：株式会社エヌ・ティ・ティ・データ経営研究所

※2 介護老人保健施設とは、要介護者であって、主としてその心身の機能の維持回復を図り、居宅における生活を営むことができるようにするための支援が必要である者に対し、施設サービス計画に基づいて、看護、医学的管理の下における介護及び機能訓練その他必要な医療並びに日常生活上の世話をを行うことを目的とする施設。（介護保険法第8条第28項）

## ■読者へのメッセージ

介護の暗いイメージを払拭する嬉しいニュースがあります。

介護を学ぶ高校生の甲子園。介護技術コンテスト。

2024年度、何と北海道石狩翔陽高等学校が優勝（最優秀賞、文部科学大臣賞受賞）しました！すばらしい！！北海道の介護は熱いですよ！みなさまお待ちしております！

【施設の紹介】 社会福祉法人 勤医協福祉会（2007年に社会福祉法人化）

理念：私たちは、いつでも、どこでも、だれもが安心できる医療と福祉をめざす運動と利用者の要求に応えた非営利の事業を通じて、地域社会の発展と福祉の向上に貢献します。

現在の事業数：介護福祉事業114事業、高齢者住宅15か所、保育事業3事業、

生活支援事業4カ所、障がい者就労支援事業1カ所 計137事業を道央圏で運営。

HP：<https://kin-fukushikai.jp/company/>



**一般社団法人北海道介護福祉士会**  
 介護福祉士の職業倫理の向上、介護に関する知識技術・  
 経験を深めて資質向上を図り、北海道の福祉の推進に  
 寄与している団体です。 ★ 新入会員募集中 ★



ホームページ  
はコチラ



入会のご案内  
はコチラ

TEL&FAX 011-222-5200

社会福祉法人北海道社会福祉協議会



# 女性のための 福祉の仕事

予約制  
参加無料

## キャリアセミナー

2025. 2. 20 Thu 10:30-11:35



かでの2.7 3F「310会議室」

北海道福祉人材センター

マザーズハローワーク札幌 ホームページ  
からもお申込みができます



## 福祉の仕事就職フェア

福祉の職場で働きたい方、福祉の仕事に興味がある方、ぜひご参加ください！  
 会場では、福祉施設の魅力や職場の雰囲気を直接感じられるブースや、資格取得に  
 ついて相談できるコーナーをご用意しています。

開催日 2025年3月2日（土）  
 開催時間 10時00分～15時00分  
 開催場所 札幌ビューホテル大通公園 地下2階



「ふくし・かいご通信」を  
お読みいただきありがとう  
ございます。

皆さまからのご感想をお待ちして  
おります！！



ご感想入力フォーム

北海道福祉人材センターでは、福祉職場への就職に関する  
相談を随時受付けております。お気軽にお問合せください。

TEL 011-272-6662

発行：北海道福祉人材センター

